

○「低コスト林業の推進に向けた現地検討会」を開催

10月13日、三八・上北流域林業活性化センターと当署の共催による「低コスト林業の推進に向けた現地検討会」を、十和田市方平国有林11林班、(有)下久保林業による間伐実施箇所において開催し、森林組合・林業事業者ほか行政関係者など約80名が参加しました。

今年で6回目となる今回の検討会では、昨年制定された森林作業道作設指針に基づくの森林作業道の作設方法について普及を図ることを目的としました。

活性化センター桑原会長、田尻署長の挨拶、販売課細田企画官による森林作業道の考え方の説明のあと、バックホウによる森林作業道作設の実演のほか、排水に配慮した線形、根株の処理、洗い越し、丸太組み工などの説明を受けながら意見交換を行いました。また三八地域県民局渡辺主査からは青森県の森林作業道作設指針について、中央研修に参加した実体験を交えての説明がありました。参加者からは、排水処理の方法、作業路に枝条を敷く方法、グラップルの使用等について質問や意見がありました。

最後に三八地域県民局徳田林務調整監から、低コストで壊れにくい森林作業道の普及や効率的な作業仕組みにより低コスト化を進め、森林・林業の再生に向け力を合わせようとの挨拶があり検討会を終了しました。



三八・上北流域活性化センター桑原会長の挨拶



バックホウによる森林作業道作設



丸太を利用した洗い越しの検討



三八地域県民局徳田林務調整監の講評